

# 新潟県立がんセンター新潟病院 地域医療連携だより

NEWSLETTER



令和元年秋号



## 基本理念

県民をはじめとする全ての患者さんに、最善のがん医療を提供します。

## 基本方針

1. 常に診療情報を開示して、患者さんとの信頼関係をもっと大切にします。
2. がん診療連携拠点病院として、すべての医療機関と連携を密にします。
3. がんの研究を行うとともに、患者さんのための医療人の育成に努めます。
4. 病院運営の適正化と効率化に努めます。



## Contents

市民公開講座開催報告

診療科のご紹介

- ・消化器外科 食道
- ・消化器外科 胃
- ・内分泌・代謝内科

ボランティア公演

令和元年11月外来診療予定表



## 第23回市民公開講座「がんゲノム医療の幕開け」開催について

市民公開講座担当 副院長 田中洋史

令和元年9月7日(土曜日)の午後、“がんゲノム医療の幕開け”をテーマとして、第23回の市民公開講座を新潟市のだいしホールにて開催させていただきました。今年6月に、網羅的ゲノム解析；Comprehensive Genomic Profiling(CGP), いわゆる“ゲノム検査”が、保険診療に導入されました。報道等でもゲノム医療や、プレジジョン・メディシンといった内容が取り上げられることが多くなりました。しかし、その内容や意義については難しい専門用語が多く、実際の検査の説明から運用に至るまで、私たち医療従事者も含めて、とまどいや混乱があるように感じています。そのような背景で、市民の皆様にごゲノム医療に関する最新の情報をお伝えし、知識やご理解を深めていただきたい、ということが趣旨です。



講演会では当院から6名の演者が登壇し、以下のような内容でお話ししました。

1. ゲノムとは？	ゲノムなどの言葉の定義、がん遺伝子、ゲノム検査の内容などについて	本間 慶一 がんゲノム医療センター長
2. ゲノム医療と大腸がん	大腸がんに関する最新情報、遺伝性大腸がんとゲノム検査について	丸山 聡 消化器外科部長
3. ゲノム医療と乳がん	大腸がんに関する最新情報、遺伝性乳がんとゲノム検査について	金子 耕司 乳腺外科部長
4. ゲノム医療と肺がん	肺がんに関する最新情報、遺伝子異常による肺がんとゲノム検査について	田中 洋史 内科（呼吸器）副院長
5. ゲノム医療とカウンセリング	遺伝カウンセリングの内容、必要性和意義、遺伝性乳がん・卵巣がんについて	菊池 朗 婦人科部長
6. ゲノム医療における看護師の役割	遺伝カウンセリングの実際について	三富 亜希 副看護師長



講演では、ゲノム医療への期待とともに、遺伝性腫瘍に関わる倫理的側面のほか、現状では全ての患者さんに恩恵をもたらすものではない、といった課題についても説明が及びました。

残暑厳しい好天の週末でしたが、当日は107名の皆様からご参加いただき、たいへん熱心に聴講していただきました。講演の後にQ and Aコーナーを設けました。そこでは、新しい医療技術に対する疑問や不安の声、また、実際に診療を受けておられる立場からの切実なご質問を多数いただきました。講演会後のアンケートでは、ご好評のお言葉をいただいた一方で、“難しくてなかなかたいへんだった”とのお言葉もいただき、今回のテーマの難しさや今後の課題を改めて認識することができました。このような市民公開講座の場は、市民の皆様への情報提供や啓蒙という意義があるだけでなく、私たち医療従事者にとっても、“生”の声や反応を感じることができる貴重な機会であることを改めて感じました。

開催にあたり、広告や周知で連携施設の皆様にはたいへんお世話になりました。この場を借りて心より御礼申し上げます。来年以降もテーマを変えて本市民公開講座を継続していく所存です。引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようにどうかよろしくお願いいたします。



## 診療科のご紹介 ～消化器外科（食道）～

医師	卒業年	主な資格
 <p>中川 悟</p>	1991年	日本外科学会外科専門医・指導医、日本消化器外科学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医、がん治療認定医 日本消化器病学会専門医・指導医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本食道学会食道科認定医・食道外科専門医
 <p>番場 竹生</p>	2002年	日本外科学会外科専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 がん治療認定医、日本消化器病学会専門医 日本食道学会食道科認定医・食道外科専門医



### 【当科の特徴】

- |                   |                            |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 食道がんの手術件数が県内随一 | 2. 食道癌に対する低侵襲手術（鏡視下手術）が可能  |
| 3. 食道外科専門医認定施設    | 4. 術後の回復をサポートする多職種チーム医療を整備 |

1. 食道がんは早期からリンパ節転移などを引き起こす悪性度の高いがんとして知られています。治療は、内視鏡治療（ESD など）、手術治療、放射線治療、化学療法、免疫療法があり、進行度と患者さんの全身状態を見極めて最適な治療を選択する必要があります。がん専門病院としての当院の総合力が十分に発揮される疾患です。

2. 食道がんに対する手術は根治を目指す上で大切な治療手段であり、ガイドラインでもステージⅠからⅢの標準治療となっています。しかし、胸部、腹部および頸部に及ぶ大手術であり、身体への負担が大きな手術であることも事実です。治療前の十分な検討をもとに、患者さんの年齢や併存疾患等の状況によって、手術以外の治療方法をお勧めする場合があります。手術の入院期間は約 1 か月です。1 年間に 40 件前後の食道がん手術を行っています。当院は食道外科専門医認定施設であり、食道外科専門医が主治医として診療を担当いたします。

3. 近年、体への負担が少ない（低侵襲）手術として鏡視下手術が普及してきています。当院でも 2007 年より食道がんに対する胸腔鏡手術を開始し、これまでの総手術件数は 200 件を超えています。胸腔鏡手術は日本内視鏡外科学会の技術認定を取得した医師が担当し、安全な手術を提供できるように取り組んでいます。全ての患者さんが胸腔鏡手術の対象となるわけではありませんが、その比率は近年高まってきています。

4. 食道がんの手術を安全に行うためには手術前後のケアも非常に大切です。当院では、頭頸部外科医師、整形外科医師、歯科医師、看護師、言語聴覚士、理学療法士、管理栄養士、歯科衛生士といった多くの専門職種によるチーム医療体制を整え、嚥下リハビリ、運動リハビリ、口腔ケアを効果的に行い、食道がん手術後の経過がより安全で良好となるようにサポートしています。

食道がん治療に関していつでも御相談・御紹介ください。今後とも何卒よろしく願いいたします。

# 診療科のご紹介

# ～消化器外科（胃）～

医師	卒業年	主な資格
<b>藪崎 裕</b> 	1985年	<b>【専門医・認定医資格】</b> 日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医 消化器がん外科治療認定医 日本がん治療認定医機構 暫定教育医・認定医 日本癌治療学会臨床試験登録医、日本消化器内視鏡学会専門医 <b>【評議員・代議員】</b> 日本胃癌学会（代議員）、日本消化器外科学会（代議員） 日本臨床外科学会（評議員）、日本消化器病学会（甲信越支部評議員）、日本消化器内視鏡学会（甲信越支部評議員）
<b>松木 淳</b> 	1994年	<b>【専門医・認定医資格】</b> 医学博士 日本外科学会専門医・指導医 日本消化器外科学会専門医・指導医、消化器がん外科治療認定医 日本がん認定医機構認定医・暫定教育医 日本静脈経腸栄養学会認定医
<b>會澤 雅樹</b> 	1999年	日本外科学会専門医 日本消化器外科学会専門医・指導医 日本内視鏡外科学会技術認定医 消化器がん外科治療認定医 日本癌治療認定医機構がん治療認定医

## 【当科の特徴】

日本外科学会認定医制度指定施設、日本消化器外科学会認定医制度指定施設、厚生労働省がん研究助成金指定研究班を中心とする日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）などの一員として全国のがん専門病院や大学病院と連携し精力的に診療を行っています。

外科、内科、放射線科、病理学の各専門医が密接な連携を築き、診断から治療へと迅速に運び、固定した熟練スタッフが行う年間約 200 例の手術治療成績は常に全国でもトップクラスを維持しています。

ERAS プログラムを組み込んだクリニカルパスで回復力強化、術後合併症減少、入院期間短縮、安全性向上を図っています。

多くの患者さんが臨床試験、先進医療、治験に参加されており、十分な説明のもとに質の高い治療を進めています。



## <診療科のご紹介 消化器外科（胃）>

### 【早期癌】

患者さんを中心とした低侵襲・機能温存手術を積極的に導入し、早期社会復帰を目指します。

手術の過半数は腹腔鏡手術で施行しており、特に上部早期癌に対する噴門側胃切除術では当科で開発した再建法を導入し、狭窄や逆流性食道炎のない良好な術後成績が得られています。



### 【進行癌】

治癒の可能性が1%でも高く延命効果が1日でも長い治療法を選択し、最新の抗がん剤と拡大外科手術による集学的治療を用いて、ステージⅣを含む高度進行例に取り組んでいます。手術適応がない患者さんについても、当科を窓口としてご紹介いただいてもかまいません。

### 【手術後の支援、患者会】



胃切除後障害に対しては医師、看護師、薬剤師、栄養士が協力して対処し、継続性のある診療と支援を行います。



当科は胃切除後障害対応施設として胃外科・術後障害研究会のホームページに掲載されており、他院での手術患者さんに対しても術後障害への指導をしています。

患者、家族、医療従事者が参加する患者会「胃・友の会」では総会、支部会、機関誌発行、趣味の会など、お互いに相談したり楽しんだりできる機会を提供しています。



医師	卒業年	主な資格
谷 長行 	1980年	内科学会認定医・指導医 糖尿病学会専門医・指導医 内分泌学会専門医 産業医
大山 泰郎 	1989年	

### 【当科の特徴】

糖尿病などの代謝疾患と、甲状腺疾患などの内分泌疾患を診療しています。谷が糖尿病、大山が甲状腺疾患を主に担当しています。

#### 1. 糖尿病

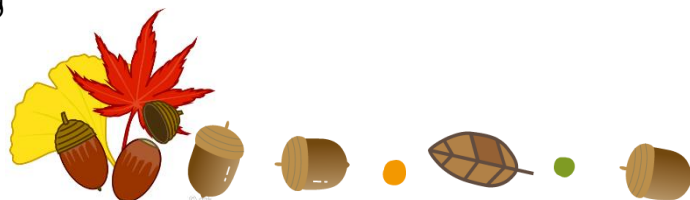
糖尿病患者さんが、がんで治療（手術、化学療法）を受けるケースは多く、ほとんど全ての糖尿病合併治療例に対し、周術期の血糖コントロールを内科で一元的に行っています。膵全摘後などの特殊なケースにも緻密な血糖管理を行い成果を上げています。

#### 2. 甲状腺疾患

自己免疫性甲状腺疾患（バセドウ病、慢性甲状腺炎）の他、甲状腺腫瘍も初期診断から長期管理まで内科で一貫して診療しています。当院はバセドウ病と甲状腺がんに対するアイソトープ治療（I-131 内照射、放射性ヨード内用療法）が可能です。化学・放射線療法が治療の中心となる甲状腺未分化がんや、分化型～低分化型甲状腺がんの転移・再発にも、放射線治療科・頭頸部外科と連携し集学的治療を施行しています。2014年から認可された甲状腺がんの分子標的薬治療にも積極的に取り組んでいます。

#### 3. その他

副甲状腺・副腎疾患は、エコー・CT・MRI・各種シンチ・血管造影（選択的静脈サンプリング）などの画像検査で診断し、頭頸部外科・泌尿器科で手術を行っています。近年、免疫チェックポイント阻害剤等の新規抗がん剤で、内分泌異常・重症糖尿病が惹起されることがあり、早期発見・治療に取り組んでいます。



# ボランティア公演のご報告



## 令和元年 8 月 18 日（日曜日）開催

ギターサークルドレミの皆様によるコンサートが開かれました。

映画「ゴッドファーザー」のテーマ曲や「いい日旅立ち」などの歌謡曲、唱歌、演歌などの幅広いジャンルの曲が演奏され、クラシックギターの音色に酔いしれたひと時でした。



## 令和元年 9 月 3 日（火）開催

小児科病棟の患者さんを対象に「病院がプラネタリウム」が行われました。

当院では初めての開催でしたが、山梨県の「星つむぎの村」から 4m ドームと“村人”の方々が来院し、がんの子どもを守る会の皆さんの協力のもと、子どもたちが宇宙の旅を楽しみました。星座カードや宇宙ゴマの作成もあり、親子で素敵な時間を過ごしました。



## 令和元年 9 月 4 日（水曜日）開催

今年で 9 回目となる地濃貴子様によるピアノコンサートが行われました。

童謡メドレーや「糸」、「虹のかなたに」など美しいピアノの音色に誘われて、外来からも多くの聴衆が集まり、用意した座席が足りなくなるほどの大盛況でした。



## 令和元年 10 月 16 日（水曜日）開催

榎本正一&オカリナサークル・風の皆様によるコンサートではオカリナの美しい音色に癒されました。

ファゴットとチェンバロをゲストに迎え、クラシックの名曲も堪能できた贅沢な時間となりました。





新潟県立がんセンター新潟病院 令和元年11月外来診療予定表

		月	火	水	木	金
内科 <small>(金曜日は新潟大学より)</small>	401診	D 張 高明	A 成澤 林太郎	D 廣瀬 貴之	D 栗原 太郎	B 小山 建一
	402診	C 大倉 裕二	D 今井 洋介	C 大倉 裕二	D 石黒 卓朗	D 今井 洋介
	501診		F 谷 長行	F 谷 長行		F 谷 長行
	502診	A 青柳 智也	E 大山 泰郎	A 小林 正明	E 大山 泰郎	B 三浦 理
	601診	B 田中 洋史	A 栗田 聡(隔週)	B 三浦 理	A 栗田 聡	B 田中 洋史
	602診	A 塩路 和彦	A 盛田 景介	A 佐々木 俊哉	A 塩路 和彦	C 須田 将吉(午前) C 尾崎 和幸(午後)
	201診	B 呼吸器内科医師		B 梶原 大季		B 馬場 順子
新患 (医師2名隔週交替) ↓*参照	F 谷 長行	B 小山 建一 D 石黒 卓朗	B 田中 洋史 D 今井 洋介	C 大倉 裕二 D 廣瀬 貴之	A 塩路 和彦 D 張 高明	
	A 佐々木 俊哉 B 三浦 理	A 青柳 智也 D 栗原 太郎	A 盛田 景介 E 大山 泰郎	A 小林 正明 B 馬場 順子	A 栗田 聡 B 梶原 大季	
*新患は2名の医師が担当します。当日の担当医については内科外来にお問い合わせください。						
A: 消化器 B: 呼吸器 C: 循環器 D: 血液 E: 内分泌 F: 糖尿病						
小児科	1 診	小川 淳	渡辺 輝浩	阿部 咲子	小川 淳	渡辺 輝浩
	2 診		第3週専門外来(14:00~)	細貝亮介	専門外来(PM)	阿部 咲子
*新患は紹介状が必要です。						
乳腺外科 消化器外科	1 診	長谷川 美樹(乳腺)	藪崎 裕(胃)	野村 達也(肝胆臓)	中川 悟(食道・胃)	丸山 聡(大腸)
	2 診	金子 耕司(乳腺)	松木 淳(胃)	瀧井 康公(大腸)	番場 竹生(食道・胃)	野上 仁(大腸)
	3 診	佐藤 敦(乳腺)	會澤 雅樹(胃)	神林 智寿子(乳腺)	森山雅人 (腫瘍内科):午後	
	4 診		宮澤 美季	高野 可赴(肝胆臓)	田中 亮	阿部/眞鍋
	予防センター-乳腺		金子 耕司 長谷川美樹(午前)	長谷川 美樹	神林 智寿子	神林 智寿子
*乳腺外科は原則予約制です。						
呼吸器外科	1 診	吉谷 克雄	青木 正	岡田 英 (~AM10時まで)	青木 正 (~AM10時まで)	吉谷克雄/青木正 (AM10時~)
	2 診		岡田 英			岡田 英
整形外科	新患	骨転移外来 畠野/山岸[隔週交替]	畠野 宏史	小林 宏人	山岸 哲郎	宮崎 友宏
	再来	小林 宏人	山岸 哲郎		畠野 宏史	小林 宏人
*完全紹介制です。						
脳神経内科 (新潟大学より)		大津 裕		二宮 格		
精神科 (午前のみ)			小林 真理		小林 真理	小林 真理
*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。完全紹介制・完全予約制です。						
脳神経外科	1 診	高橋 英明		五十川 瑞穂	高橋 英明	五十川 瑞穂
	2 診	五十川 瑞穂		高橋 英明	五十川 瑞穂	高橋 英明
	3 診					宇塚 岳夫 (4週の午後)
婦人科	1 診	生野 寿史	菊池 朗(午前)	菊池 朗	生野 寿史	吉田 邦彦(午前のみ)
	2 診	吉田 邦彦 (午前のみ)	堀内 綾乃	吉田 邦彦	遺伝性乳がん 卵巣がん外来 (大学・山口)	堀内 綾乃
	3 診	予約のみ	笹川 基(午前)	遺伝性乳がん 卵巣がん外来 (大学・西野)	菊池 朗(予約のみ)	
皮膚科	1 診 (主に新患)	高塚 純子	勝見 達也	竹之内 辰也	森 修一	高塚(1,3,5週) 勝見(2,4週)
	2 診 (主に再来)	勝見 達也	竹之内 辰也	勝見(1,3,5週) 高塚(2,4週)	高塚 純子	竹之内 辰也
	3 診	森 修一	森 修一	森 修一	勝見 達也	森 修一
泌尿器科	1 診	谷川 俊貴	村田 雅樹	斎藤 俊弘	斎藤 俊弘	谷川 俊貴
	2 診	小林 和博	山口 峻介	小林 和博	山口 峻介	村田 雅樹
*新患は紹介状が必要です。						
眼科	1 診	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭	原 浩昭
	2 診			佐藤 敬子(午前)	佐藤 敬子(午前)	佐藤 敬子(午前)
頭頸部外科	1 診	佐藤 雄一郎(再来)	富樫 孝文(新患)	予約のみ	佐藤 雄一郎(新患)	高橋 優人(新患AM)
	2 診	尾股 丈(新患)	尾股 丈(再来)		富樫 孝文(再来)	
	3 診	富樫 孝文	高橋 優人		尾股 丈	
放射線治療科	1 診	杉田 公	杉田 公	杉田 公	杉田 公	杉田 公
	2 診	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男	松本 康男
	3 診	鮎川/金本	鮎川/金本	鮎川/金本	鮎川/金本	鮎川/金本
*木曜日・金曜日は新患の対応ができない場合があります。						
麻酔科	1 診	富田 美佐緒	富田 美佐緒	富田 美佐緒	高松(1,3,5週) 富田(2,4週)	高松 美砂子
	2 診	渋江 智栄子	高松 美砂子	渋江 智栄子	渋江 智栄子	渋江 智栄子
	術前	高松 美砂子	阿部 崇	阿部 崇	阿部 崇	阿部 崇
完全予約制です。						
形成外科		2,4週 13~14時(再来)		坂村 律生	坂村 律生	
緩和ケア科	午前/午後	本間 英之	中島真人	本間 英之	中島真人	本間 英之
	*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。 *原則新患1日2名になります。新患依頼は外来へお問い合わせください。					
歯科口腔外科 <small>(日本歯科大学より)</small>	午前/午後		午前/午後	午前/午後	午前/午後	午前/午後
	*当院に受診中であり、主治医より紹介された方のみ対象です。					

※ 変更となる場合がありますので、事前にご確認ください。(電話: 025-266-5111)

新潟県立がんセンター新潟病院 地域連携・相談支援センター (地域連携部門)

TEL: 025-234-0011 FAX: 025-234-0022 受付時間 月~金 8:30~19:00

がんセンター新潟病院 URL: <http://www.niigata-cc.jp>

原則として予約日当日に行える検査はCT、腹部超音波、MRI、食道・胃・十二指腸内視鏡、PET-CT

時間外のFAXについては、平日夜は翌朝、金曜夜から日曜は月曜の朝にお返事申し上げます